

『女性の視点から避難所を考えませんか?』第2回 会議録

- ◆開催日 平成26年8月2日(土) 14:00開始
- ◆場所 四谷ひろば B館3階 ライブラリーにて
- ◆参加者 四谷ひろば避難所運営協議会 会長
地域住民 14名 計15名

14:00 開会

四谷第四小学校と四谷ひろばの避難所の違い

- ①幼稚園の地下の部屋にあったが、1階の元給食室に備蓄倉庫が移動している。
※倉庫には、他地区と平等に同じものを備蓄している。その他のものは置けない。
- ②飲み水に対する取組み。以前は、プールの水を「ろ過」する練習をしてきたが、現在、プールに水がない。飲料水については、建物と愛住公園の間に、受水槽がある。
※プールの貯水がなくなり、緊急の外部トイレ設置時に流す水がなくなった。そのため、グラウンド門横に、汚物を流すためのタンクが2基新設された。飲み水とは別の扱い。
- ③地域住民用の備蓄倉庫とは別に、おもちゃ美術館や四谷ひろばの利用者向けには、別途、用意している。地域ひろばでは、アルファ米、素麺、防寒用アルミシート、七輪と煉炭、ガスボンベ・カセットコンロ等を備蓄している。
- ④各町会には、無線機が3台ずつ用意されている。避難訓練の際には、その無線機で、避難所とやりとりの練習をしている。ひろばには現在無線機がない。
- ⑤グラウンド門、正門の横に、キーボックスがあり、ダイヤルキーで門の鍵が取り出せるようになっている。いざというときに、近隣の人が門を開けられるようにしたものである。愛住町会と四谷四丁目町会に一任している。
※区からの災害管理者として、愛住町と四谷四丁目からの1名ずつカギを預かっている。
- ⑥帰宅困難者への対応等 3.11の震災依頼、企業の帰宅困難者への対応が問題となり、各企業で対応するように指導がなされている。各企業ごとに備蓄をし、滞在をするというもの。帰宅困難者が地域の避難所に訪れた場合には、指定の帰宅困難者受け入れ施設として、歴史博物館・四谷区民センターなどに誘導するように明確化。※わかりやすいように看板設置する。

14:40 意見交換

- ・消防団として訓練に参加していたが、昨年始めて町会員として参加した。各コーナーに参加して、とても勉強になった。個別に担当している方が多いので、ぜひ、全体を一巡してみたほうが良いと感じた。
 - ・ボランティアで参加していても、最近では、自分で実際に触れて指導することが多くなった。毎年、触っていても、忘れていることがある。聞いているだけではなく、少人数で体験していくことが大事だと感じている。
- ◎運営協議会会長より
- 11月30日に避難訓練があるが、町会長と出張所で、1ヶ月ほど前に、準備会が予定されている。そのときに、せっかく集まって、意見交換がなされているので、避難訓練内容についても要望をまとめて出してもらいたいと思う。例えば、担当セクション以外へも参加できるようにしてほしいとか、防災無線のこととか。一度にではなくても、徐々に提案してもらえると良いと感じた。今現在は、出張所や消防署からのたたき台を検討しているので、地域からの要望を出していくことにつなげていけたらと思う。

14:50~15:20 茶話会&テーブルごとの意見交換等

- ・今まで、毎年、手馴れた人が担当になるということで、避難訓練時の持ち場担当を決めてきたが、交代することも必要なのかもしれないと感じた。
- ・防災倉庫について
四谷四丁目は、大木戸公園内、愛住町・舟町は愛住公園、そして、荒木町は荒木公園とっぱ池の並びにある公園にも倉庫がある。

- ・3.11のときに、荒木町は、町会内の見回りなどに町会長が回った。
※一斉に練習のように対応ができるとは限らないことが、他の町会でもあると感じられる。
- ・6つの町会が、まずは、地域の防災に関して情報交換をしたり、災害時に連携が取れるようにしていくことが大事。どうなるかわからない災害時ではあるが、一定のルールは決めておかないと、町会の人ではない避難者で声の大きな人が現れて乱されることも考えられる。
- ・聞いただけではわからない。訓練日ではない日に、少人数で実地訓練がしたい。
- ・現状の説明を、ほかの人たちにもぜひ、説明してほしい。
- ・煉炭を用意しておく、簡単にマッチ一本で火が付き、低価格で便利である。お祭りのときの煮炊きにも便利である。順次沸くたびに、魔法瓶に移すといい。いらなくなった魔法瓶とかも、集めておくといいかもしれない。ただし、一酸化炭素中毒に要注意。皆、賛同。
- ・現在、寄贈された2ℓの水が賞味期限を大幅に過ぎているが、ひろばに別途備蓄している。飲めなくなっても、足を洗ったりすることができるのではないかと考えての備蓄である。避難所備蓄のペットボトルの水はあくまでも哺乳瓶用です。飲料水は、貯水タンクのものを利用する。このように、用途について把握しておくことが大事であり、情報の共有化が必要。
- ・地域は力をあわせて、自立した避難訓練等を検討していくことを目標に、レディス会では、当日の訓練のほか、課題提案したり、少人数での実地訓練なども行なうことが大事だという意見が多かった。とくに、備蓄倉庫の中を把握したいという意見が多数。

課題

- ①炊き出しやトイレ組立設置など、各担当は、その日にその場の対応のみで、その他の備蓄倉庫見学や各種事業について、見学する機会がない。そのため、どこに何があるのか、よくわからない。
- ②各町会ごとに、それぞれの取り組みがあることをすり合わせておく必要があるのではないか。現在、一律に、四谷ひろばに来ることが前提となっているが、その途中過程にも情報交換が必要なのではないかと。※例えば、荒木町や四谷四丁目は、それぞれの公園での炊き出しのことも予定されているようである。
- ③他人事ではなく、地域で取り組んでいくことを考えていくことが大事。普段から、地域で考え、自らが訓練にも真剣に取り組むようにしていくことが必要。
※一昨年より、四谷中の学生が、当日の訓練に参加している。また、授業の一環に、地域の危険箇所や消火器の場所などを町歩きして、地域の方と意見交換をしている。

15:20 閉会

次回、10月9日（木）町会連合会の前には、提案を出していくことを目標にする。

閉会挨拶 運営協議会会長より

6つの町会の避難所として、まずは、備蓄に対してどのようにしたらスムーズに分配できるかを考える必要があるかと思う。

15:20～30 解散後に、避難所備蓄倉庫の見学

- ・水槽のタンク用にある蛇口の札の説明がわかりづらい。さらに、その蛇口をつけるための接続ホースが二基あるが、飲料水用と汚物処理用との違いがわからないので、色分けして、接続がわかりやすいようにしてほしい。
- ・カップラーメンの保存食について 「缶」と表示されているが、どのようになっているのか。
- ・かなり、日があたって、暑くなっているが、備蓄品は大丈夫なのか。
- ・オムツの数は、絶対に少ないと思う。
- ・涼しくなったら、一度、真剣に見てみましょう。

※次回、レディス会 10月4日（土） 14:00～ ライブラリーにて

◎次回準備するもの 避難所備蓄倉庫の商品一覧 配置図